

学園テーマ「東海医療学園のブランド力を高める！」

重点目標

- I. 魅力ある学校づくりの推進
- II. 地域に貢献し、愛される学園を目指す
- III. 学園の運営基盤を強化する

評価 3: 優れている 2: 適切 1: 改善が必要

評価項目	成果と課題	評価	学校関係者評価および次年度の取り組み
1. 教育理念・目的・人材育成像	<p>学校案内、ホームページ及び学生便覧等において、教育理念・人材育成像、ならびにアドミッション、カリキュラム、ディプロマの各ポリシーを学校の内外に向けて明示し理解に努めた。</p> <p>令和3年度においても「教職員の誓い」のパネルを1号館玄関ホールに掲げた。</p>	2.8	<p>「教職員の誓い」を掲げたことは好ましいことであり、誓いの下学生支援に努めてほしい。</p>
2. 学校運営	<p>学園テーマ、重点目標達成に向けて基本方針を定めるとともに校訓「慈愛・至誠・奉仕」のもと、東洋療法の専門職として、国民の健康を支える人づくりを教育理念とし、アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーを明確に発信する。また、本校創設の理念である「あん摩マッサージ指圧等の手技における高い技術を身につけた人材育成や技の伝承」に努めることでブランド力の向上を図る。全体会議等を通じて教職員の共通理解に努めた。3年度は新型コロナウイルスの影響もあったが、概ね計画どおりの業務執行が行えた。</p> <p>授業や実習については静岡県の感染動向に注視しつつ、全て対面で実施することができ、教職員・学生含め若干名の感染者を出したが、学校運営上に支障はなかった。</p>	2.8	<p>コロナ禍のなか、感染防止対策のもとに対面授業にて授業を行ってきたことは評価できる。感染症対策を継続し、安全を重視した学校運営に努めてほしい。</p> <p>東洋医学と一般医学をバランスよく学べるカリキュラム設定は大切であると思う。</p>
3. 教育活動	<p>1) カリキュラム</p> <p>教材「プロフェッショナルリズムとリスク管理」が完成し、教育課程編成委員会にて質の高さが評価された。また、あま指の外部評価に備える目的であん摩・指圧実技動画を作成した。学生への動画配信についてはGoogle classroom等を活用する予定で準備を進</p>	2.4	<p>実技動画教材の作成などは高く評価する。今後は、鍼灸の動画教材作成も期待したい。これらの教材による成果を検証し、更なる改善につなげてもらいたい。</p>

<p>3. 教育活動</p>	<p>めた。実習棟実技室に大型ディスプレイを設置し、あん摩・マッサージ・指圧動画が実技室解放時に見られるようにした。</p> <p>2) 分かりやすい授業への取り組み 教員による自己点検評価、学生による授業評価、校長等による授業参観及びフィードバックにより授業の改善向上に努めた。</p> <p>3) 適切な成績評価 単位認定、進級・卒業認定等の基準を定め、これに基づく適正評価に努めた。試験においては必要度・難易度から十分吟味した問題の作成に努めた。</p> <p>4) 教職員の資質向上 静岡県職業教育振興会主催の新任教員研修会に参加し、資質向上に努めた。 その他、関連学会および各種セミナー等に参加し、資質向上に努めた。</p> <p>5) 臨床実習 当初計画していた地域住民を対象としたあん摩臨床実習、ならびに介護保険施設の見学を中止としたが、教職員・3年生を患者としたあん摩臨床実習や外部の施術所臨床実習を実施し、施術者としての態度・技能の向上に努めた。</p> <p>6) その他の教育活動 球技大会はレクリエーション大会として開催し、教職員との交流や学生相互の親睦を図ることを目的に行った。解剖見学実習は、鶴見大学のご協力の下、2年生・3年生の見学を行った。学園祭、特別授業、ゼミ等の教育活動はすべて中止となった。</p>	<p>2.4</p>	<p>教員による自己評価、学生による授業評価などの継続的な実施は、授業の改善向上に努めている点で高く評価できる。</p> <p>コロナ禍の中、外部施設での臨床実習の実施は、学生にとって大変意義のあることだと思う。次年度も対策をしながら実施の継続をお願いしたい。</p>
----------------	--	------------	--

<p>4. 学修成果</p>	<p>進級率・卒業率の維持向上のため、面談による問題発見・指導・学習サポートに努めたが、中途退学者2名、(健康上の理由・家庭の事情)、留年者2名(学業不振)、休学者3名(健康上の理由、家庭の事情)となった。</p> <p>年間を通じて国家試験対策授業の実施など合格率向上に努めた結果、あん摩マッサージ指圧師試験100%、はり師試験、きゅう師試験ともに95.8%であった。</p> <p>(公社)東洋療法学校協会による実技評価を受け、受験者全員が合格した。</p> <p>日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー認定試験について、令和2年度(3月)に実技試験を受験した2名の内、1名が実技試験に合格した(合否発表は4月)。</p> <p>令和3年度理論試験に4名が受験し、合格者は0であった。</p> <p>JATI認定トレーニング指導者資格試験に1名が受験し、1名が合格した。</p>	<p>2.6</p>	<p>中途退学者防止対策は充分に行われていると感じるが、休学者が若干多いように思う。ただ、昨年よりは改善しており、その取組みが結果を生んだと感じる。成績不振者には、今後さらなる支援の手を差し伸べることを望む。</p> <p>国家試験の合格率は向上しており、着実に数字に反映していることは評価できる。</p>
<p>5. 学生支援</p>	<p>1) 進路相談</p> <p>①外部講師による3年生対象の就職セミナーを7月に開催し、マナー、履歴書の書き方、職場訪問の仕方などを指導した。</p> <p>②就職ガイダンスを11月に開催した。令和2年度はコロナ禍により中止としたが、今年度は静岡県内、神奈川県西部地区の企業、医療関係事業所を主とし縮小開催とした。参加事業所は28カ所であった。</p> <p>③令和3年度の求人件数は164件であった。令和2年度は159件であり、前年度と比較してほぼ横ばいとなった。未だ新型コロナウイルス感染症の影響が原因となっていると思われる。</p> <p>2) 健康管理</p> <p>学校保健安全法に基づき、学生および教職員の健康診断を実施した。令和2年度のような休校等を行わなかったが、新型コロナウイルス感染症対策のため引き続き、登校時の検温と手指消毒、施設内の清掃および消毒の徹底、学生にはマスクや消毒用アルコール</p>	<p>2.8</p>	<p>求人件数は横ばいといえども減少していないのは評価でき、数的には多い方だと思う。コロナ禍の中で大変だとは思いますが、企業訪問等も継続してもらいたい。</p> <p>また、今後は求人の内訳(職種、平均的報酬など)も具体的に知りたい。</p> <p>進路相談、健康管理、生活相談など学生支援は、徹底して行われていると思う。臨床心理士と提携のもと、健康管理を行ったことが、退学率低下にもつながってきているのでは判断できる。今年度も継続して実施してもらいたい。</p>

<p>5. 学生支援</p>	<p>ルの配布等を行い感染防止に努めた。また、B型肝炎予防接種を実施、実習および将来の業務による感染防止に努めた。</p> <p>臨床心理士協力のもと、1年生に対し「健康チェック」を実施。学生の心身の状態を把握し、早期対応に努めた。</p> <p>3) 生活相談</p> <p>①日本学生支援機構奨学金（高校新卒者に対する予約採用、在学採用、社会人に対する在学採用）に関する相談、貸与申請、継続手続きなどの支援に努めた。</p> <p>②期限までに授業料等納付困難な学生に対し、分割納付を助言、指導した。</p> <p>③校友会奨学金制度に基づき、対象学生に給付した。</p> <p>④高等教育の修学支援制度の認定校として2年目を迎え、対象者に対し、給付型奨学金と連動した授業料減免制度の申請、手続き等を行った。</p> <p>⑤昨年に続き国が創設した、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う「学生等の学びを継続するための緊急給付金」制度の募集があり、該当学生への支援を行った。</p> <p>⑥臨床心理士による学生相談を実施、学習や生活についてのサポートに努めた。</p> <p>4) 卒後教育</p> <p>付帯教育である卒後臨床専攻コースに6名が進み、研修を修了した。</p> <p>卒後臨床専攻コースに静岡県視覚支援学校の卒業生を1名受け入れた。</p> <p>校友会研修会は動画配信。鍼灸臨床実技セミナーは一年間延期とした。</p>	<p>2.8</p>	
<p>6. 教育環境</p>	<p>1) 施設・設備の構造・面積等を法令に準拠している。</p> <p>2) 図書室に飛沫防止のためのパネルを設置した。</p> <p>3) その他、教具・図書等の充実に努めた。</p> <p>各階に防犯カメラを設置、防犯・安全対策に努めている。</p> <p>非常放送設備等の定期点検を実施した。</p> <p>4) 1号館4階教室の床の張替え、1～2階トイレの改修等を行った。</p>	<p>2.6</p>	<p>施設設備の整備は適宜行われており、学習環境の配慮がされている。</p> <p>今後も、安全・衛生・安心を心掛けて欲しいと思う。</p>

<p>7. 学生募集 および 受け入れ</p>	<p>アドミッションポリシー及び学生募集要項に基づき、適正に実施している。 令和3年度生の入学定員充足率は82.5%であった。</p> <p>1) 本校の情報を、適宜学校ホームページや SNS 等で発信した。また、コロナ禍に対応してオンラインガイダンスも継続して行った。</p> <p>2) オープンキャンパスを開催し、本校の魅力発信に努めた。 高校生対象のAO、推薦入試説明会も昨年より継続して実施し、また、夜間における学校説明会の開催日数を昨年度より増やして開催した。</p> <p>3) 業者主催による進学相談会（会場型、高校内）は、令和2年度よりは増えたものの実施数は減少した。高校訪問については、訪問先状況に応じて実施した。</p> <p>4) 新入生プレスクールを実施。感染症対策に努めつつ、新入生同士のコミュニケーション、学習への意欲向上、基礎学力の把握等に努めた。また、保護者に対しても学習支援の説明・協力を求めた。</p>	<p>2.4</p>	<p>HPやSNSによる発信など募集活動は適切に行われているかと思うが、定員充足に至っていないので、今後更に工夫した広報を期待する。</p> <p>オープンキャンパスでは、県内唯一の、あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう3資格取得が可能な学校として、体験を多くし、東洋医学を理解してもらい必要かと思う。更に、卒業生の活躍や、鍼灸マッサージが世の中でどのように貢献しているのかを伝えることも重要だと思う。</p>
<p>8. 財 務</p>	<p>健全な財務状況の保持と情報公開に努めている。</p> <p>予算、収支計画は有効かつ妥当なものとなっている。令和3年度においても定員充足を充たせなかったことによる収入減により、支出が収入を上回る状況となった。</p> <p>会計監査は適正に実施されている。</p>	<p>2.6</p>	<p>情報公開は適切に行われている。</p> <p>安定した学校運営を継続するため、定員充足率100%を期待する。</p>

<p>9. 法令等の遵守</p>	<p>専修学校設置基準、職業実践専門課程の規程、養成施設認定規則および同指導ガイドライン等の法令を遵守している。</p> <p>前年度の学校運営について学校関係者評価を実施、その結果を公開した。</p>	<p>2.8</p>	<p>ガイドライン、法令を遵守した学校運営がされており、特に問題はない。</p>
<p>10. 社会貢献・地域貢献</p>	<p>施術所の運営を通じて、市民の保健衛生の向上に寄与した。</p> <p>令和2年度に引き続き、令和3年度の鹿児島国体は中止となった。毎年小田原アリーナで開催されている「全国定時制高校バドミントン大会」は令和3年度は開催され、ATコースの学生が中心となり4日間大会のサポートを行なった。また、近隣高校の部活動の現場実習を兼ねたサポートは継続している。</p> <p>昨年度実施した地域中学生の職場体験、県内高等学校における出前講座などは全て中止となった。</p> <p>7月に発生した熱海市伊豆山地区の土石流災害において、災害支援チームであるDSAM（ディーサム：Disaster Support Acupuncture Massage Joint Committee）、静岡県鍼灸マッサージ師会、静岡県鍼灸師会の会員と協力し、熱海市の消防隊員に対する支援として鍼灸マッサージ施術を行った。</p>	<p>2.8</p>	<p>現在の社会情勢の中、地域イベント等の中止は仕方ないが、取組みとしては高く評価できる。</p> <p>今後、イベントや大会が再開された時には積極的に参加し、鍼灸、あん摩マッサージ指圧の知名度をあげてもらいたい</p> <p>熱海市の土石流災害におけるボランティア活動は、学校を中心に活動しており、地域社会への貢献としては高いものといえる。</p>

東海医療学園専門学校 学校関係者評価委員会

日 時 令和4年5月19日（木）16:00～17:30

場 所 東海医療学園専門学校会議室

出席者 学校関係者評価委員会

委員長 矢田 真樹 （校友会副会長・静岡県鍼灸学術研究会会長）

委 員 斉藤恭二郎 （公益社団法人静岡県鍼灸マッサージ師会会長）

〃 井出 啓之 （とがみえん児童クラブ理事長）

〃 澁谷 哲平 （校友会副会長） 〃

〃 中村 聡 （静岡県保険鍼灸マッサージ師会会長）

教職員 木村 博吉 （校 長）

〃 堀部 吉隆 （教務課長）

〃 城 茂高 （事務長）

〃 太田 一郎 （臨床センター長）

〃 金川小百合 （AT コース長）